

◆日時 令和7年9月17日(水) 19:35~21:00 ※オンライン

資料2-1

◆出席者 多様性が尊重され誰もが活躍できるまちづくり検討部会委員5名 ※全員出席

【事務局作成たたき台】

【第7次宮津市総合計画における「視点」】

「多様性」

宮津市における定義(案)

宮津市にかかわるあらゆる人々が、人種、国籍、信条、性のありよう、障害、年齢、出身地、経歴等の様々なちがいを認め合い、いかなる差別を受けることなく、人権の尊重による多様な生き方を自らの意思で選択し、個性や能力を発揮できる社会づくりを進めます。

また、市民や事業者、行政が連携しながら、社会的障壁を取り除き、誰もが参加し、その人らしく活躍できる環境づくりを行うとともに、家族や地域のつながりを深め、多様な人々の交流を生み、住む人も来る人も互いに支え合いながら、心豊かに、また、健やかに過ごせる多様性を活かした地域づくりを進めます。



【部会でのご意見】

- ・LGBTQの子どもは、2人に1人が自殺行動、5人に1人が自殺未遂をしている現状がある。啓発が大事であり、宮津市でもそういう活動をしていきたい。
- ・LGBTQの人は、自分らしく生きるのに心苦しい思いをしており、地方では就職の際の差別等を受けるのではないかという思いで、都会に出る。そういった点も社会的障壁かなと思う。
- ・「家族や地域のつながりを深め」とあるが、一般論として家族は大事だが、家族と上手くいっていない人に対しては、家族内のつながりを深めないといけないというあるべき論の押しつけにならないか。
- ・「来る人」とは何か。来る人も互いに支え合うということが想像できない。
⇒観光客や関係人口と考えている。(事務局)
- ・「視点」としては、「多様性の尊重」がよいのではないか。
- ・アメリカにおける「DEI」は、いろいろな国の人が住んでいる中で、皆に同じレベルのチャンスがあるというイメージである。
- ・社会障壁がなく、差別されず、皆が平等なチャンスを与えられる社会をつくれば、外国人もマイノリティも住みやすく、地域も良くなっていくという考えのもと、そういうまちをつくっていくという方向性で良いのではないか。



【ご意見を反映させた修正案】

「多様性の尊重」

宮津市における定義(案)

宮津市にかかわるあらゆる人々が、人種、国籍、信条、性のありよう、障害、年齢、出身地、経歴等の様々なちがいを認め合い、多様な価値観を持つ一人一人として互いに尊重し合うことで、人権が尊重され、いかなる差別を受けることなく、多様な生き方を自らの意思で選択し、個性や能力を発揮でき、自己実現を図っていくことのできる社会づくりを進めます。

また、市民や事業者、行政が連携しながら、社会的障壁を取り除き、誰もが参加し、その人らしく活躍できる環境づくりを行うとともに、家族や地域のつながりを深め、多様な人々の交流を生み、住む人も訪れる人も互いに認め合い、支え合いながら、心豊かに、また、健やかに過ごせる多様性を生かした地域づくりを進めます。